

令和2年度 横浜市民スポーツ意識調査 結果報告

～新型コロナウイルス感染症拡大のなか、スポーツ実施率が向上～

本市では、「横浜市スポーツ推進計画」の目標達成度合いを計るため、市民を対象としたスポーツ意識調査を実施しています。この調査結果を踏まえ、「スポーツ都市横浜」の実現にむけて新たな政策立案等につなげます。

なお、調査結果については、市民局ホームページに掲載します。(URL:<https://www.city.yokohama.lg.jp/kanko-bunka/sports/shinko/shinko/keikaku/20180327151525.html>)

1 結果概要（別紙「令和2年度横浜市民スポーツ意識調査報告書 概要版」を参照）

(1) 調査結果のポイント

成人の「週1日以上」のスポーツ実施率は、昨年度を上回りました。また、「週3日以上」のスポーツ実施率及び65歳以上の「週1日以上」のスポーツ実施率、障害のある方の「週1日以上」のスポーツ実施率は、昨年度を上回るとともに、市の目標を上回りました。

ボランティア参加率は、昨年度を上回りました。

スポーツへの感じ方は、“好きではない”と“観ることが好き”の割合が減少し、“することが好き”が上昇していることから、能動的なかわり方への意識の変化が見られます。また、「ウォーキング」「ラジオ体操等」「トレーニング」など、気軽にできるスポーツの実施率が増加しています。

🔍 調査結果からの考察

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、健康への意識が高まったことや、自宅で過ごす時間が増え、健康・体力の維持・増進や運動不足解消のためにスポーツをする人が増えたことが、スポーツ実施率の向上に繋がったと考えられます。
- ・自宅でできるスポーツや、3密を回避できるスポーツの実施率が増加しており、新しい生活様式の中でできるスポーツの需要が高まっていると考えられます。

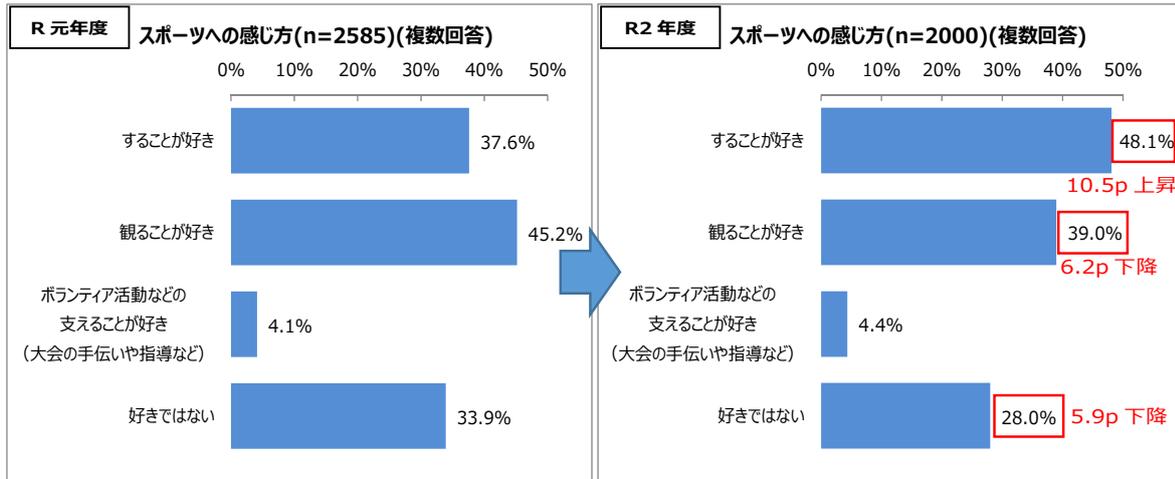
(2) 「横浜市スポーツ推進計画」の目標値について（昨年度との比較）

項目	目標	R2	R元
成人の実施率（週1日以上）	65%	64.5%	55.8%
成人の実施率（週3日以上）	30%	33.5%	29.1%
65歳以上の実施率（週1日以上）	70%	80.2%	74.8%
障害のある方の実施率（週1日以上）	40%	58.3%	36.7%
トップスポーツ観戦率	50%	29.7%	30.2%
ボランティア参加率	10%	7.0%	6.1%

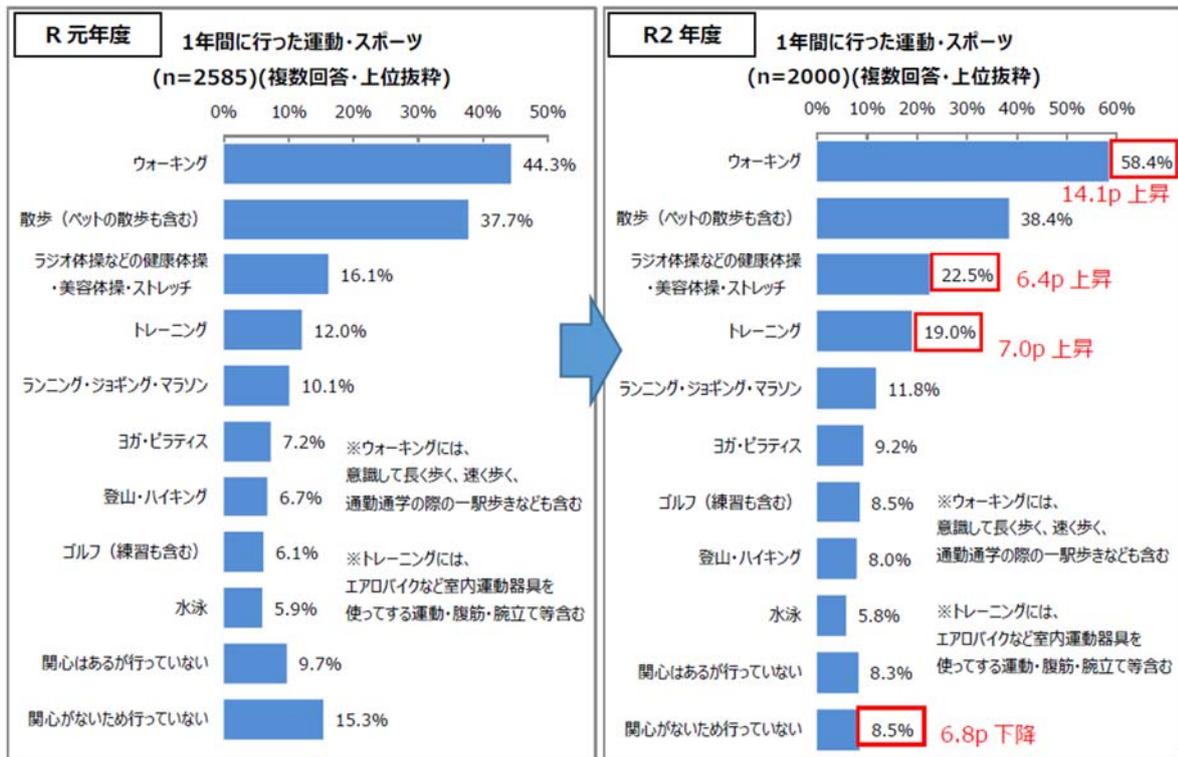
(3) 健康意識の高まりについて（昨年度との比較）

※表中に複数回答の記載がある設問は、比率の合計が100%にならないことがある。

ア スポーツへの感じ方



イ 過去1年間に行った運動・スポーツ



2 調査概要

- (1) 対象者 ア 横浜市に居住する満20歳以上の調査機関登録者（モニタ）
イ 横浜市に居住する満20歳以上で、調査機関登録者（モニタ）のうち、本人もしくは同居の家族に障害のある方
- (2) 抽出方法 ア 性別・年齢・居住区の構成比率を基にモニタの中から有意抽出法により抽出
イ モニタの中から有意抽出法により抽出
- (3) 調査方法 インターネットによるアンケート調査
- (4) 調査期間 令和2年10月9日（金）～10月26日（月）
- (5) 回収状況 ア 有効回答数：1,995件（※ウェイトバック集計後2,000件） イ 有効回答数：393件

※各区の人口構成比と調査設計のサンプルの割当て件数（2,000）でウェイトバック集計を行った。（ウェイトバック集計とは、回収されたデータを母集団の実際の構成比に合わせて、データに重みづけをして集計する集計方法）

お問合せ先

市民局スポーツ振興課長

守屋 喜代司 Tel 045-671-3237